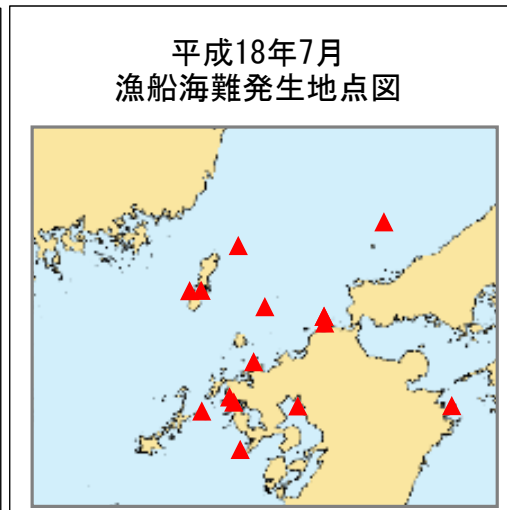
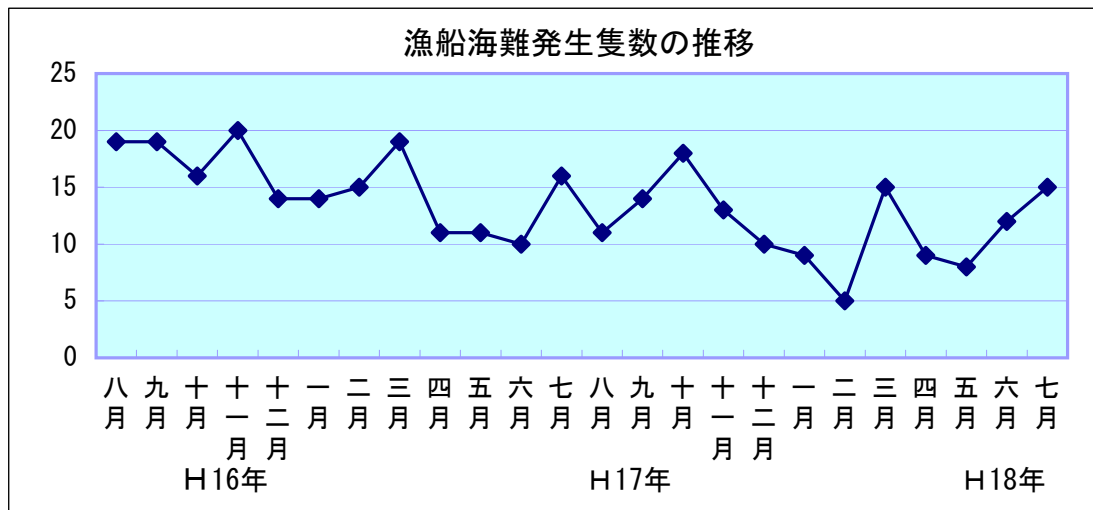


7月中に七管で認知した海難は38隻でした。うち、**漁船は15隻と約40%**を占めています。また、**全国海難防止強調運動期間中(7/16~7/31)の漁船海難は10隻**と7月全体の2/3を占める結果となっています。

平成18年7月	
合計15隻	
種類別	
衝突	5
乗揚	1
転覆	1
浸水	2
推進器障害	2
舵障害	0
機関故障	1
火災	1
爆発	0
行方不明	0
運航障害	2
安全障害	0
その他	0
15	
県別	
山口県	1
福岡県	5
佐賀県	1
長崎県	7
大分県	1



普段、衝突や乗揚げ海難等が目立ち、あまり表に出ませんが、画像のような**無人漂流(運航障害)!**状態で発見された場合、当て逃げや何らかの原因により乗組員が海中転落した可能性が大であることが予想され、関係機関とも大規模な捜索劇となります。今回の事例は長期係留していたものが流れ出たもので、海難に起因するものではないことが確認されましたが、「お騒がせ」には間違いありません。岸壁に着けていても船の管理は十分に!!!



県別の表は、各県に所在する海上保安部署において取り扱った海難の合計数を示しています。